

迷子も楽しい島めぐり。  
常設展示作品24点、アートな島めぐりへ出かけよう！

# 佐久島 2021

## アート・ピクニック

2021年4月～2022年3月  
会場／島内2ヶ所・島外2ヶ所



佐久島体験マップを  
見ながらまわろう！

1 待合室リノベーション	2 宝船さちかぜ	3 佐久島歓迎 地福開円満	4 ガリバーの目
MIURA LAB	松岡徹	松岡徹	木村崇人
5 西港歓迎太鼓	6 アイルランド in 佐久島	7 大葉邸	8 おひるねハウス
松岡徹	猫野べすか	平田五郎	南川祐輝
9 大和屋観音	10 ノンとピリーだ	11 クラインガルテン ウェルカムスペース	12 空の水一山
松岡徹	松岡徹	松岡徹	青木野枝
13 カモメの駐車場	14 すわるとこプロジェクト	15 イーストハウス	16 佐久島のお庭
木村崇人	MIURA LAB	南川祐輝	松岡徹
17 星を想う場所	18 海神さま	19 アポロ	20 むかしむかし
荒木由香里	松岡徹	POINT (長岡勉+田中正洋)	松岡徹
21 北のリボン	22 ひだまり庵	23 知識の蜂の巣	24 すぐその、向こう側
TAB	松岡徹	佐久島ナビステーション内 長岡勉 [POINT]	佐久島ナビステーション内 猫野べすか

佐久島  
アート・ピクニック  
常設展示作品24点の  
体験と鑑賞の手引き

- 「待合室リノベーション」**  
名城大学理工学部建築学科 MIURA LAB  
[西港渡船場2階待合室] 2011  
古く暗かった待合室を明るい白と貝染めの紫を基調に改装。渡船を待つ時間も楽しくなる空間に劇的ピフォーアフター。
- 「宝船さちかぜ」** 松岡徹  
[西港渡船場] 2003  
のぞき箱の中にあるのは、本物の風景の向こうにある松岡徹が見つけた想像の世界の佐久島。市営渡船「さちかぜ」の運ぶ交流が、島にとっての宝物となりますように。
- 「佐久島歓迎 地福開円満」** 松岡徹  
[西港渡船場] 2010  
アートと顔出し看板のコラボレーション。1人～3人まで人数に合わせて顔を出したり閉じたりでき、縁起物の鯛も持ったりできるハイテク仕様。記念撮影にどうぞ。
- 「ガリバーの目」** 木村崇人  
[崇運寺] 2003  
「もし巨人になったら、どんな風景が見えるのか？」それを体験しよう。小さな鏡に映っている大きな鏡の中の風景を、目に力を入れて平行に見つめてください。
- 「西港歓迎太鼓」** 松岡徹  
[弁天サロン内] 2003  
のぞき箱作品。島の祭りに欠かせない勇壮な佐久島太鼓。旅人を歓迎する響きが聞こえてきそうです。
- 「アイルランド in 佐久島」** 猫野べすか  
[弁天サロン内] 2007  
佐久島にある実際の風景を舞台にした版画作品が6点展示されています。同じ景色を見つげられるかな？

- 「佐久島空家計画／大葉邸」** 平田五郎  
[西集落] 2002～2008  
築100年の古民家を6回に渡って1軒丸ごと作品化。庭は年中無休で見学可。室内見学は弁天サロンでの申込が必要（見学は午後4時半まで）。スタンプは玄関外にあり、いつでも押せます。
- 「おひるねハウス」** 南川祐輝  
[石垣(しげけ)海岸] 2004 (2013再制作)  
三河湾ののんびりした景色、潮風や波音を体験してみよう。作品の黒い色は、西集落の黒壁がモチーフに。看板の注意書きをよく読んでハシゴをのぼる時は気をつけてね！2010年に公開された劇場版「名探偵コナン 天空の難破船」にも登場。劇中でコナン君と怪盗キッドが「おひるねハウス」に遊びに来てくれました。
- 「大和屋観音」** 松岡徹  
[西集落] 2003  
「昔から佐久島で子供たちを見守っている」想像世界の観音さまです。永らく展示されていた「大和屋」が取り壊され、2020年4月、移転先に制作された祠には、大和屋の建物の一部が再利用されています。
- 「ノンとピリーだ」** 松岡徹  
[フラワーロード沿い] 2003  
のぞき箱作品。ノンとピリーはヤギの名前です。雑草を食べるのがお仕事。フラワーロード沿いに小屋があります。
- 「クラインガルテン ウェルカムスペース」** 松岡徹  
[フラワーロード沿い] 2012  
クラインガルテン入口のミニ公園。モザイクタイルの椅子や日時計、山型看板がかわいい小道沿いに配置されています。敷地内にも時計塔、フットライトなど松岡徹によるアート作品が点在。
- 「空の水一山」** 青木野枝  
[白山社・東側] 2008  
静かな森の中、弘法さんの祠のかたわらにあります。そのかたわらは祠の仲間のようなです。作品は時間をかけて錆びてゆき、森の一部になっていくのでしょう。

- 「北のリボン」** TAB  
[ソテツの広場] 2015  
ハイキングロードと海岸コースが出会う場所に位置し、森と海と空をリボンのように軽やかに結び彫刻作品のような見晴台。冬の晴れた日には運がよければ富士山が見えることも。
- 「ひだまり庵」** 松岡徹  
[ひだまりの広場] 2015  
古びた「あすまや」とベンチのある小さな公園のリノベーション。絵の具で描くようにモザイクタイルが古く暗いあすまややベンチを再生させました。ひだまりの広場は2016年も引き続き作品化が行われ、森の中の静かな小さい公園が、少しずつ変わっていくようすをお楽しみください。
- 「カモメの駐車場」** 木村崇人  
[大浦海水浴場] 2005  
風の島である佐久島では、風にたくさんの呼び名があります。東風は「ごち」（平安時代の和歌みたい）、南風を「まぜ」など。ナウシカの谷にも本当はたくさんの風の名前があるんだろうなあ。この作品は風を見るための装置です。
- 「すわるとこプロジェクト」**  
名城大学理工学部建築学科 MIURA LAB  
[フラワーロード] 2008  
座ったり、寝転がったり、のんびり景色を楽しむためのものです。さがして一服してください。
- 「イーストハウス」** 南川祐輝  
[大島棧橋ポケットパーク] 2010  
東地区にある東屋なので「イーストハウス」。対岸に見える「おひるねハウス」とは対照的な白い箱。階段から屋上へ上がることもできます。強風の日には危険なので屋上には上らないでください。
- 「佐久島のお庭」** 松岡徹  
[大島] 2006～2009  
中心の山は、佐久島の大山、遠田山、秋葉山、富士山を表現。富士山(フジヤマ)は豊峰富士と同じ形で、階段があり登頂もできます。小道には、島民が使っていたお皿を埋めました。お山の前には不思議な世界から飛んできた「弁天鳥」。飛び石は、本土に続く海の道を表現。作品は佐久島をとりまく環境の縮図です。入口には「佐久島地蔵」。2月が見頃の梅園を抜けると「海神さま」に会えますよ。

- 「星を想う場所」** 荒木由香里  
[高千谷] 2017  
2012年に設置された荒木由香里の「星を想う椅子」が5年の展示期間を終え、高千谷海岸に新たな作品が制作されます。浜辺で集めた「星のかけら」からなる小宇宙を、深い水底のような空間の向こうに見つけに行きましょう。
  - 「海神さま」** 松岡徹  
[正念寺] 2003  
海神さまは、釣りの神様。アート作品なのにお賽銭をあげる人が絶えません。海神さまの分身には「佐久島のお庭」や西港渡船場駐車場でも会えます。
- 島外／佐久島ナビステーション
- 「佐久島の秘密基地／アポロ POINT (長岡勉+田中正洋)」**  
[筒島手前] 2013  
木々のトンネルを抜けて渥美半島を見渡す崖の上に現れた建築作品のイメージはアポロ11号の月着陸船。小さな建物なのに異なるたくさんの風景を体験できます。2階は狭いので譲り合ってください。
  - 「むかしむかし」** 松岡徹  
[東港渡船場] 2003  
のぞき箱作品。対岸の地名は「鯨切り(くじらきり)」。昔々、鯨をさばいたと言われている。作品から島の歴史をのぞいてみよう。
  - 「知識の蜂の巣」** 長岡勉 [POINT] 2017  
ドームの円天井に呼応するようにすり鉢状に作られた迷宮のような空間にギャラリー、ライブラリー、茶室など文化施設のミニチュアの要素が盛り込まれています。それを物見台から眺めてみましょう。
  - 「すぐその、向こう側」** 猫野べすか 2018  
版画家・絵本作家である猫野べすかの紡ぐ「アイルランド」という空想世界の住人が描かれていて、中には佐久島が浮かんでいます。中央の扉は実際に開けることができ、想像の世界への窓といえるでしょう。

**弁天サロン** 入場無料 開館時間／午前9時～午後5時 年末年始・月曜休館(月曜祝日の場合、祝日明けの最初の平日) 7・8月無休 弁天サロン内の作品 ⑤ ⑥ と大葉邸⑦屋内(弁天サロンでの申し込みが必要)は、休館日は見学できません。

**佐久島ナビステーション** 入場無料 開館時間／午前9時～午後5時 年末年始・水曜休館 7月20日～8月は無休 佐久島ナビステーション内の作品 ③ ④ は、休館日は見学できません。ご了承ください。